



ブックカバーの表紙



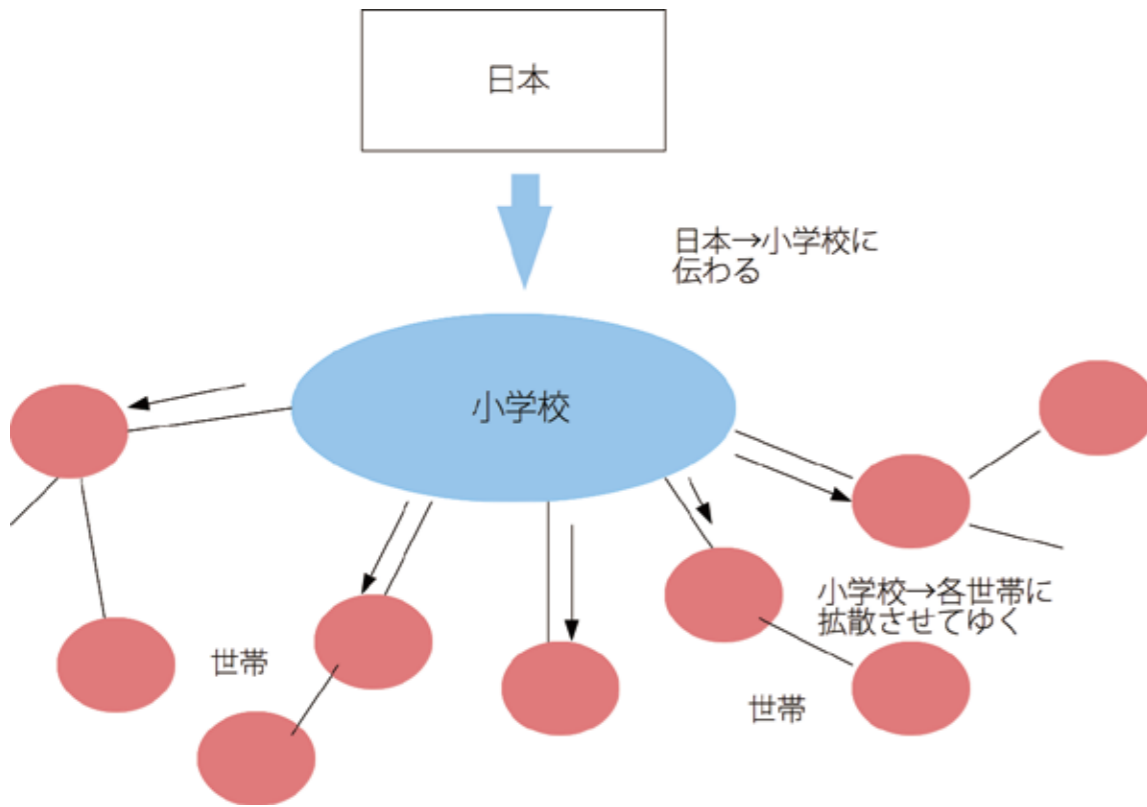
Sofa



Plastic Bag + Sand

Title _____

Name _____



コンゴに大学生が渡航し、小学校を建設することで、小学校の建物自体に日本から持って来られた知恵や知識が埋め込まれ、またそこに通う生徒は日本から持ち込まれた学びを受けられる。しかし、日本から持ち込まれた知恵は小学校止まりであり、小学校の外には広がっていない。

そこで、子どもたちの教科書や図書館で借りた本に、日本の知恵を記したブックカバーを付け、それを家に持ち帰った子どもたちの親がブックカバーを目にするすることで、日本の知恵が各家庭に拡散していく。こうすることで、小学校での取り組みはコンゴの一般家庭にも広がっていき、より大きく知恵を共有させることができる。

ブックカバーは大きなサイズであれば折り込んで本のサイズに適合させることができるため、本のサイズに左右されることはない。折る前は紙なので、大量に仕入れることができる。現在小学校には本はあまりないようだが、図書館を建設したため今後本が搬入される可能性は高い。そうなった際に、ブックカバーを導入させることは考えられる。

